

## 教育厚生委員会 県内調査活動状況

1 日時 平成21年1月30日(金)

2 出席委員 (8名)

委員長 棚本 邦由

副委員長 河西 敏郎

委員 土屋 直 清水 武則 大沢 軍治 岡 伸 武川 勉 安本 美紀

欠席 なし

地元議員 中村 正則 金丸 直道 内田 健 中込 博文

関係議員 高野 剛

3 調査先及び調査内容

(1) 【境川自転車競技場】

調査内容(主な質疑)

問) 今まで3回の舗装改修を行っているが、今回は、今までの改修とどのように違うのか。

答) 今までは、一番上の1層の部分を改修していたが、路面の土が沈んでひび割れ等が出てきたため、調査した結果、一番下の5層を除いた4層までをやり直さないと、度々同じような状態になるとのことで、今回4層までを全てやり直した。

問) 5層は改修せずに、4層までを改修したということだが、金額も今までの改修よりかなり多くなっているため、よほどの改修工事だったということか。

答) 一番きつい斜度が31度あり、傾斜がかなりあるので、長年使用していると舗装がずれてくる。そうすると凹凸が出てくるため走行に支障がでる。通常は概ね10年に一度は改修しなければならないが、今回は26年ぶりの改修となった。これまで1層部分だけの補修で済ませていたが、それだけでは耐えられなくなってきたため、今回は全面改修とした。

問) 明野最終処分場で法面等をコンクリートで固める予定だったのを、コンクリートでは地震等で崩れてしまうため、コンクリートより堅いというベントナイトにした経緯がある。この競技場でも崩れを防ぐため、可能であれば、ベントナイトを使用するという方法もあるのでは、と思った。

問) 年間の利用者数と収入はどのようになっているのか。

答) 平成19年度で、合計7,316人、111万1,479円となっている。県内アマチュアが2,877人、県外アマチュアが2,747人で併せて5,624人であり、県内プロが765人、県外プロが130人で併せて895人となっている。同じ人が繰り返し利用しているため、合計と合っていない。



小瀬スポーツ公園武道館で説明・質疑の後、境川自転車競技場に移動し、施設を見学した。

## (2) 【養護老人ホーム・特別養護老人ホーム豊寿荘】

### 調査内容（主な質疑）

問）養護老人ホームの入所者状況を見ると、年齢構成状況で65歳から69歳の方が多いが理由はなにか。

答）精神疾患が多い。最近は、社会復帰の促進を図るという方針のため、65歳になった時点で精神病院から養護老人ホームに移ってくる人が多い。

問）養護老人ホームの要介護者認定状況を見ると、要介護2以上の方が多いが、これらの方は特別養護老人ホームへの入居待ちという状況か。

答）要介護になった方をすぐ特定養護老人ホームへ移せるかというのは難しい状況にある。この施設内には訪問介護事業所を設けており、養護老人ホームの入居者に介護サービスを受けてもらっている。



集会室で説明・質疑の後、施設内を見学した。